

「桐生を好きな子供」を育成する実践事例

～風景画を描くことで桐生の良さを感じよう～

桐生市立清流中学校

1 はじめに

桐生市は、緑の山々に三方を囲まれ、渡良瀬川と桐生川の清流に生まれ、自然が豊かである。また、古くから織物の街として栄え、平成24年度には「桐生新町伝統的建造物群保存地区」として指定された。これらの豊かな自然と、先人達が築いた優れた文化が、市民生活の中に息づいている。この恵まれた環境を、次の世代に伝える事が大切である。

本校では美術の授業を通して、明日の桐生を担う子供達に、桐生の素晴らしい自然や風景をとらえさせ、絵を描くことを通して、桐生の良さを再認識することを支援している。風景画を描く課程を通して、試行錯誤しながら一つの作品を作り上げることで、桐生を再認識させ、桐生を好きな子供を育成したいと考える。

2 概要

2年生の美術科の授業で、主に2学期に校舎から見える風景を描いている。絵画の表現分野において、基礎・基本である観察力、描写力を付けることは重要である。中学2年生は、発達段階からみると、見たままを描きたいという意識が芽生えてくる年頃でもある。学校周辺の風景や街の風景も、絵に表そうとして見直してみると、思いがけない面白さや美しさを見付けさせることができる。

3 活動の様子

(1) 校舎から見える風景を描く ～構図を考えて水彩で風景画を描こう～

①この題材では身近な風景から、心引かれる情景を探し、感じ取った美的な印象や感情を素直な気持ちで表現させる。そのねらいとしては、

ア、選んだ情景を特徴付けている要素を考え、自分の主題をはっきりさせる。

イ、構図の取り方や画面の配置で、表したい感じが変わることを考え工夫させる。

ウ、色の変化を発見し、工夫して表現させる。

エ、材料や用具の基本的な使い方の活用の工夫をさせる。

②指導方針としては、身近な風景の中から心ひかれる場所を選び描くことで、親しみや興味関心を持たせる。また、絵の具等の特性を理解させ、混色や重色、筆づかいを工夫させて表現させる。

③指導計画 ・第1時・・・風景画について学習する。

・第2～4時・・・場所を選び構図を考えて、鉛筆で下描きをする。

・第5～9時・・・絵の具で彩色する。

・第10時・・・作品を相互鑑賞して、良さを認め合う。

④指導上の留意点として、

ア、参考作品を提示し、本時のねらいと学習内容を確認させ、活動への意欲を喚起する。

イ、絵の具の特徴、パレットへの絵具の出し方、重色や混色、筆づかい、試し塗り

等の彩色の基本的事項を確認させ、工夫して自分の思いを込めて表現させる。
 ウ、用紙は水彩画ボードを使用させることで、画板も兼ねさせ、より、描く場所の
 範囲を広げさせる。また、描く時のマナーやルールについても確認させる。
 エ、風景画では構図が重要なので、デッサンスケールを使用させ構図を決定させる。
 オ、面積の広い部分から、また、明るい色の部分から彩色を進めさせる。
 カ、机間指導で彩色に悩んでいる生徒を支援する。（絵の具に対する水の量、筆の
 使い分け、タッチ、彩色の順序）などを具体的に支援する。
 キ、絵の具による「下塗り」を制作に取り入れることで、重色がしやすく、色彩豊
 かになり、自分の思いを込めて表現させる。



【本校よりの眺め・北】



【本校よりの眺め・東】



【本校よりの眺め・西】

(2) 街へ出て桐生の絵を描こう

これは、市内にある伝統的建造物群や伝統芸能などを題材として、夏休みを利用して
 絵を描く取り組みである。本校では夏休みの課題の一環として、「桐生の風景」を描い
 ている。桐生市では、以前、市内の自然や建物、行事などを絵に描いた、「私たちの桐
 生絵画コンクール」を市内の小・中学生を対象に桐生市郷土資料展示ホールにて行っ
 てきた。現在は、それを引き継いだ形で、「伝統ある街・桐生絵画コンクール」を桐生市
 近代化遺産絹襷記念館主催で実施している。生徒は、このコンクールに応募すること
 を目標として制作に取り組んでいる。夏休みは、自分のペースで、こだわりを持って絵
 を描く時間がとれるため、絵に興味のある生徒が、本校では多く参加している。時間
 を多く費やすことが出来るので、納得のいく絵が描ける生徒が多い。また、このコン
 クールには、国際姉妹都市コロンバス市の子供達との交流にも役立っている。



【鳳仙寺】



【織物会館】



【群大工学部同窓記念会館】

4 おわりに

絵を描く場所を見付けようとして、改めて桐生を見てみると、自然や文化に素晴らし
 さを感じる事が出来ると思う。伝統の中にも新しさがある。子供達には機会があるた
 びに、街に出たときに、いろいろなことを再発見して、後々まで何らかの方法で桐生
 を引き継いでいってほしいと願っている。